

長門湯本温泉景観ガイドライン　＜土木景観デザイン・素案＞

2 0 1 7（平成29）年7月24日

ランドスケープデザイン担当：カネミツヒロシセッケイシツ

目次

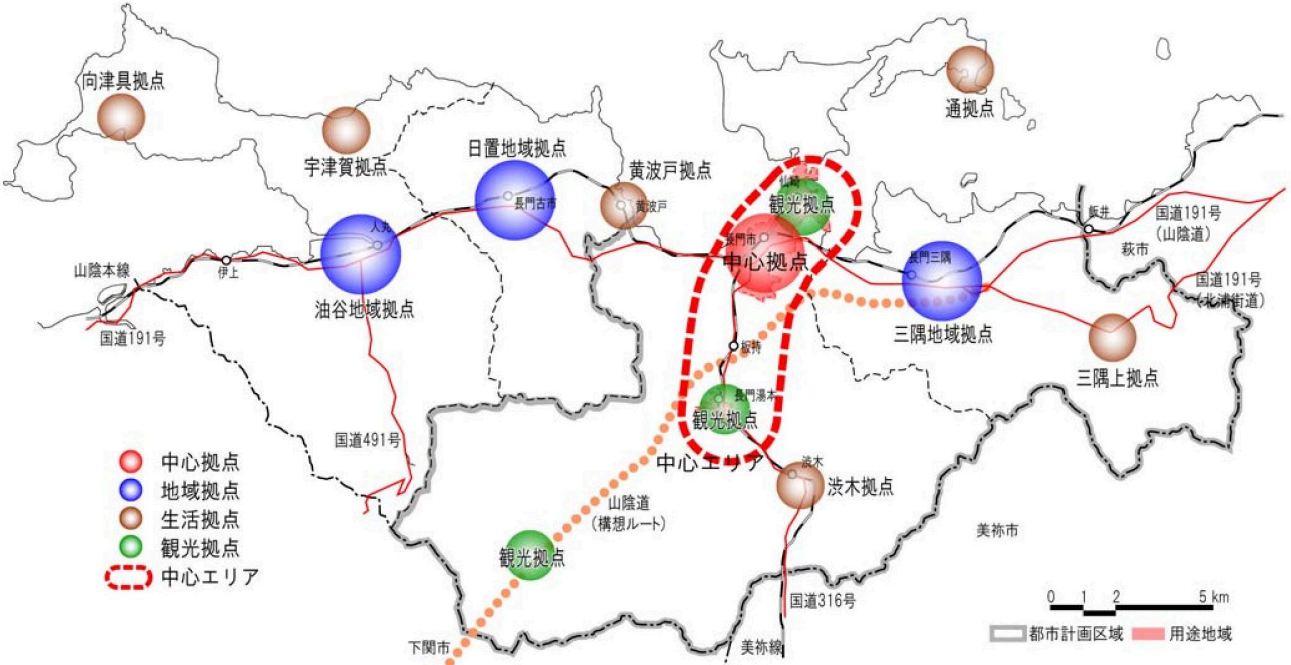
| | |
|--|----|
| 1．長門湯本温泉周辺及び長門市内のランドスケープ特性・・・・・・・・・・ | 1 |
| 1) 景観特性の調査及び景観的課題の整理　・・・・・・・・・・ | 1 |
| （1）調査対象地区・・・・・・・・・・ | 1 |
| （2）景観特性の調査・・・・・・・・・・ | 1 |
| （3）景観特性及び景観的課題の整理・・・・・・・・・・ | 5 |
| 2．重点地区の景観形成方針の作成・・・・・・・・・・ | 6 |
| 1) 長門湯本地域の景観分析・・・・・・・・・・ | 6 |
| 2) 重点地区の設定・・・・・・・・・・ | 7 |
| 3) 各地区の景観形成方針・・・・・・・・・・ | 7 |
| （1）温泉街地区・・・・・・・・・・ | 7 |
| （2）三ノ瀬地区・・・・・・・・・・ | 7 |
| （3）大寧寺周辺地区・・・・・・・・・・ | 7 |
| （4）駅周辺地区・・・・・・・・・・ | 8 |
| （5）国道316号東地区・・・・・・・・・・ | 8 |
| 3．景観デザインガイドラインの作成・・・・・・・・・・ | 9 |
| 1) 長門湯本景観形成方針・・・・・・・・・・ | 9 |
| 2) デザインにおける7つの考え方・・・・・・・・・・ | 10 |
| 3) ランドスケープにおける長門湯本地区を構成する空間の整理・・・・・・・・ | 12 |
| 4) ランドスケープの景観デザインガイドライン　素案・・・・・・・・ | 13 |
| （1）舗装・排水施設等・・・・・・・・・・ | 13 |
| （2）植栽・・・・・・・・・・ | 15 |
| （3）サイン・ファニチャー類・・・・・・・・・・ | 17 |
| （4）垣および塀・柵類・・・・・・・・・・ | 18 |
| （5）護岸・擁壁・法面・・・・・・・・・・ | 19 |

1. 長門湯本温泉周辺及び長門市内のランドスケープ特性

1) 景観特性の調査及び景観的課題の整理

(1) 調査対象地区の絞り込み

長門湯本温泉周辺及び長門市内のランドスケープの景観特性及び景観的課題を整理する為には、市内でも人の活動が盛んで多くの人の目に触れる地区の風景を採取し特徴を捉える必要がある。
ここでは、市内の人の活動が盛んな地域・多くの人の目に触れる場所という観点から、「長門市都市計画マスタープラン」に位置づけられる「拠点」の風景を採取し分析・課題の整理を行う。



調査対象地域(長門市都市計画マスタープラン p24 より)

＜調査対象地点＞

| | | | | | | |
|------|------|---|-------|------|---|-------|
| 中心拠点 | 観光拠点 | ① | 中心市街地 | 生活拠点 | ⑧ | 通地区 |
| | | ② | 仙崎地区 | | ⑨ | 渋木地区 |
| | | ③ | 湯本地区 | | ⑩ | 三隅上地区 |
| | | ④ | 俵山地区 | | ⑪ | 黄波戸地区 |
| 地域拠点 | | ⑤ | 三隅地区 | | ⑫ | 向津具地区 |
| | | ⑥ | 日置地区 | | ⑬ | 宇津賀地区 |
| | | ⑦ | 油谷地区 | | | |

(2) 景観特性の調査

- ＜中心拠点＞
①中心市街地



市役所交差点周辺

- ・6F 程度の中層建物も含む建物群が集まる地域であり、周辺への見通しは道路軸線上に得ることができる。
- ・高低差が少なく、平坦な地形である。
- ・街路樹や市役所裏の小山など、各処にまとまった緑量がある。見通しが得られる場所では、遠景に山や緑を感じることができ、市街地がコンパクトにまとまっている。



北側方向を見る
青海島の特徴的なシルエットがアイストップとなる



南側方向を見る
美祿方面の山の緑が目玉に留まる

②仙崎地区



仙崎駅周辺



青海島シーサイドスクエア岸壁周辺

- ・仙崎湾と深川湾に挟まれた半島状の地区で、高低差が少なく平坦な地形である。
- ・周辺に高さのある建物は少なく空が広い。黒瓦屋根の風情のある木造漆喰壁の建物が散見され漁村の歴史を感じさせる。
- ・観光拠点として、駅・駅周辺やみすず通り、青海島シーサイドスクエアなどの公共空間に景観整備が施されている。



みすず通り
風情のある家並みが見られる



シーサイドスクエア
温暖地の海辺の雰囲気醸す植栽

③湯本地区



湯本大橋からの見下ろし



白木屋グランドホテル跡地からの見下ろし

- ・南北方向に音信川が流れ、大寧寺川が合流する、谷あいの集落風景が広がる。
- ・谷底と山の高低差があるため、見下ろしの目線で建物の屋根並みを楽しむことができる。
- ・街中は小路が張り巡らされ、建物の壁や石垣、植物などの触れられる距離での発見が楽しい。



音信川
遊歩道や河川公園・足湯などが整備され、水辺の散策を楽しめる。



小路
街中の様々な場所で見られる魅力的な赤瓦屋根の建物と石垣

④俵山地区

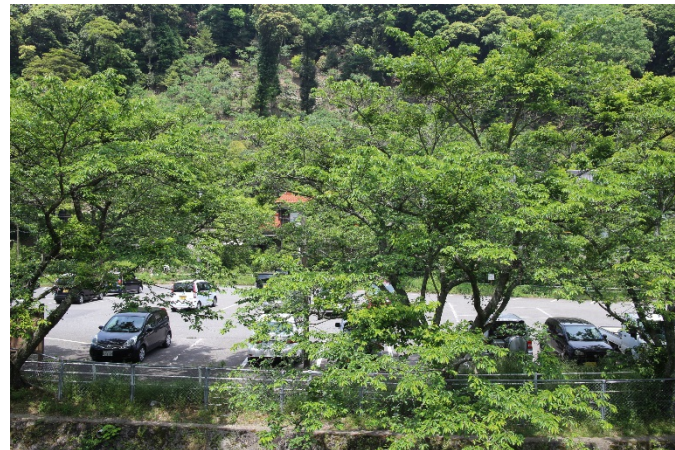


福田泉月堂前交差点周辺

- ・山の等高線上に構成された道を両側から宿が挟みこみ、温泉街を形成している。
- ・南北方向の道は比較的平坦だが、直交する方向の小路は急な坂や階段で構成される。
- ・道は総じて狭いが、車の速度を抑制する効果があり、また南北両端に大規模な駐車場を確保している為、歩行者中心のそぞろあるき空間を実現している。



白猿の湯(外湯)
赤瓦屋根が印象的な大規模公衆浴場



無料駐車場
高木で覆われ殺風景な駐車場の印象を緩和している

＜地域拠点＞

⑤三隅地区



三隅中学校交差点周辺

- ・周囲を山に囲まれ、東西方向に山陰本線・国道 191 号と三隅川がはしる。
- ・建物密度は低く、緑が多い地区である。

⑥日置地区



長門古市駅周辺

- ・平地が広がり遠景に山が見える。東西方向に山陰本線・国道 191 号がはしる。
- ・山陰本線・国道 191 号を軸とした市街地においても建物密度は低く、その外縁には田畑が広がる。

⑦油谷地区



大坊踏切周辺

- ・平地が広がり遠景に山が見える。東西方向に山陰本線・国道 191 号がはしる。
- ・山陰本線・国道 191 号を軸とした市街地においても建物密度は低く、その外縁には田畑が広がる。

<生活拠点>

⑧通地区



くじら資料館周辺

- ・仙崎湾に面し、後背を山に囲まれた一集落である。
- ・多くは木造低層住宅が密集しているが、くじら資料館や支所・漁協などの RC 造の公共的施設がありランドマークとなっている。

⑨渋木地区



渋木集落内

- ・音信川が大きく屈曲した場所にある集落で、四方を山に囲まれた狭隘な平地に田畑が作られている。
- ・国道 316 号・JR 美祢線が東西にはしり、東側の山裾を中心に赤瓦屋根の集落がまとまっている。山の緑とのコントラストが美しい。

⑩三隅上地区



三隅上集落内

- ・四方を山に囲まれた狭隘な平地に田畑が作られている。
- ・国道 191 号が東西にはしり、赤瓦屋根の集落がまとまっている。山の緑や田畑の緑とのコントラストが美しい。

⑪黄波戸地区



黄波戸集落内

- ・深川湾に面し、後背を山に囲まれた一集落である。
- ・駅周辺の区画が整理されている地区と、古くからの漁村の町割を留めた地区とに分かれる。
- ・建物は低層で、赤瓦屋根・黒瓦屋根が入り混じる。

⑫向津具地区



向津具集落内

- ・油谷湾に面し、後背を山に囲まれた半島の中の一集落である。
- ・幹線道路から集落を見下ろすことができ、海・集落・緑のコントラストが美しい。
- ・ところどころ傾斜地に作られた棚田の石垣・水田の水・作物の緑が目を楽しませる。

⑬宇津賀地区



宇津賀集落内

- ・非常に急峻な山間部に開けた集落で、斜面地に広がる棚田が切り開かれている。
- ・狭隘な幹線道路を軸として集落を形成している。

（３）景観特性及び景観的課題の整理

①長門市の景観特性

長門市は、日本海に面する海岸線から中国山地西部の山間部にいたる豊かで変化に富んだ自然環境、県外からの利用客にも親しまれる温泉地、歴史に培われた風情など、山陰地域を代表する観光・保養地である。また、自然の恵みを生かし農業・林業・漁業といった生業と一体となった集落の風景が美しく、市街地、漁業集落、農業集落、山間部集落、棚田、山林などからなる多様な土地利用が長門市の風景を形成している。

②長門市の景観的課題

平成 29 年 3 月に長門湯本地区景観計画が先行して定められ、今年度は市全域において景観計画の策定を進めている。1 市 3 町が合併した長門市は景観特性も様々であり、海・山・河川といった豊かな自然、農業生産空間、市街地、観光拠点等といった地勢や土地利用は重要な景観的資源と捉えられる。そうした資源の長所を継承保全していくことや、より良く見せていく・魅力を伝えるといった視点の制度整備や実際の整備をさらに進めていくことが課題となる。

下表に、「長門市都市計画マスタープラン」に位置づけられる「拠点」の景観特性及び景観的課題を整理する。

| 分類 | 番号 | 地区 | 景観特性（特徴的な景観要素） | 景観的課題 | |
|------|------|-------|--|---|---|
| 中心拠点 | ① | 中心市街地 | 近景：市街地建築 遠景：青海島、山並 | 概ね基盤の整備が進んでいることから、今後は歩道空間の質の向上やバリアフリー化、道路だけではなく宅地部分についても景観整備や緑化の促進などを通して、長門市らしい拠点の形成を図ること | |
| | 観光拠点 | ② | 仙崎地区 | 仙崎湾、青海島、港・港湾施設、船、シーサイドスクエア、仙崎駅、みすゞ通り | 歴史や食、風景など様々な観光資源があり多様な楽しみがある地区であることから、個々の個性を表現する空間・形状素材・見せ方の質をより高める。 観光資源をネットワークする空間・動線の高質化。 |
| | | ③ | 湯本地区 | 音信川・大寧寺川（川面、岩場、河川公園、遊歩道、橋）、温泉宿、足湯、大寧寺、山 | 自然・歴史・文化資源の保全活用や空家・老朽化家屋などの景観阻害要素への対策。 地区全体で表現する温泉保養地としてのしつらえとなるように更新を進め、ブランド化を図ること。 |
| | | ④ | 俵山地区 | 木造温泉宿の連なる温泉街、山並、正川 | 街並み景観の整備や更新のルールが必要であり、湯治場としての雰囲気の後世にも継承する。 |
| 地域拠点 | ⑤ | 三隅地区 | 近景：仙崎湾、田畑、三隅川、旧三隅町の経済・行政・交通の中心地 遠景：山並 | 山・海・河川や農業生産空間を背景とした田園景観を保全継承する。 国道沿い施設の景観的配慮。 | |
| | ⑥ | 日置地区 | 近景：田畑、掛淵川、旧日置町の経済・行政・交通の中心地 遠景：山並 | 山・海・河川や農業生産空間を背景とした田園景観を保全継承する。 国道沿い施設の景観的配慮。 | |
| | ⑦ | 油谷地区 | 近景：油谷湾、田畑、掛淵川、旧油谷町の経済・行政・交通の中心地 遠景：山並 | 山・海・河川や農業生産空間を背景とした田園景観を保全継承する。 国道沿い施設の景観的配慮。 | |
| 生活拠点 | ⑧ | 通地区 | 仙崎湾、港・港湾施設、船、くじら資料館 | 山・海を背景とした漁村景観を保全継承する。 | |
| | ⑨ | 渋木地区 | 赤瓦屋根の集落、田畑、山並 | 美しい赤瓦集落と田畑の風景を保全継承する。 アイストップとなる駅舎の老朽化対策。 | |
| | ⑩ | 三隅上地区 | 赤瓦屋根の集落、田畑、山並 | 美しい赤瓦集落と田畑の風景を保全継承する。 | |
| | ⑪ | 黄波戸地区 | 深川湾、港・港湾施設、船 | 山・海を背景とした漁村景観を保全継承する。 | |
| | ⑫ | 向津具地区 | 油谷湾、港・港湾施設、船、棚田、山並 | 山・海を背景とした人の営みと自然が融合した景観を保全継承する。 | |
| | ⑬ | 宇津賀地区 | 日本海、棚田、山並 | 山・海や農業生産空間（棚田）を背景とした人の営みと自然が融合した景観を保全継承する。 | |

2. 重点地区の景観形成方針の作成

1) 長門湯本地域の景観分析

湯本温泉地域を、特徴的な景観要素やその広がりによって、5つの地区に分類する。

(1) 温泉街地区

音信川を軸に、外湯である恩湯や宿泊施設が集まる、長門湯本の中心地区である。川沿いには回遊性の高い遊歩道、街中は小路が張り巡らされ、高低差のある街中の散策も魅力である。

＜景観特性（特徴的な景観要素）＞

音信川（川面、岩場、河川公園、遊歩道、橋）、宿泊施設、外湯・足湯、小路



温泉街地区の屋根並み



街中に巡る小路



音信川と遊歩道

(2) 三ノ瀬地区

約400年前に御用窯が築かれたのが始まりといわれ、現在も集落内には登窯や陶土を砕くサコンタとよばれる水車小屋がある、萩市と並ぶ萩焼の里である。

＜景観特性（特徴的な景観要素）＞

登窯、瓦屋根の住宅、庭、石垣、三ノ瀬川、緑



美しく苔むした石垣と庭



三ノ瀬川に沿って広がる静かな集落



集落内には登窯が見え隠れする

(3) 大寧寺周辺地区

600年を超える歴史を持つ大寧寺を中心に、その旧参道も木々に包まれた自然豊かな地区で、森林浴が気持ち良い。大寧寺川には、ゲンジボタル発生地として指定されている。

＜景観特性（特徴的な景観要素）＞

大寧寺、旧参道、大寧寺川（川面、岩場、橋）、緑



歴史と格を感じさせる大寧寺境内



大寧寺川と盤石橋



森林浴が心地良い旧参道
(お地藏さんの小道)

(4) 駅周辺地区

閑静で手入れの行き届いた庭が散見される住宅街と田畑が広がる。駅と湯本温泉街は徒歩10分弱程度と若干距離がある。

＜景観特性（特徴的な景観要素）＞

駅、住宅、田畑



閑散とした長門湯本駅



旧街道と駅への分岐点



旧街道は交通量の少ない生活道路
となっている

(5) 国道316号東地区

森林に囲まれた谷あいの土地で、温泉街地区や駅周辺地区と比べて住宅は密集しておらず、田畑も見られる。地区の奥には、地域の共同墓苑がある静かな場所である。

＜景観特性（特徴的な景観要素）＞

谷、住宅、田畑、湯の後川



森林に囲まれた谷あいの集落



傾斜に地に棚田の風景が広がる



地域の共同墓苑

2) 重点地区の設定

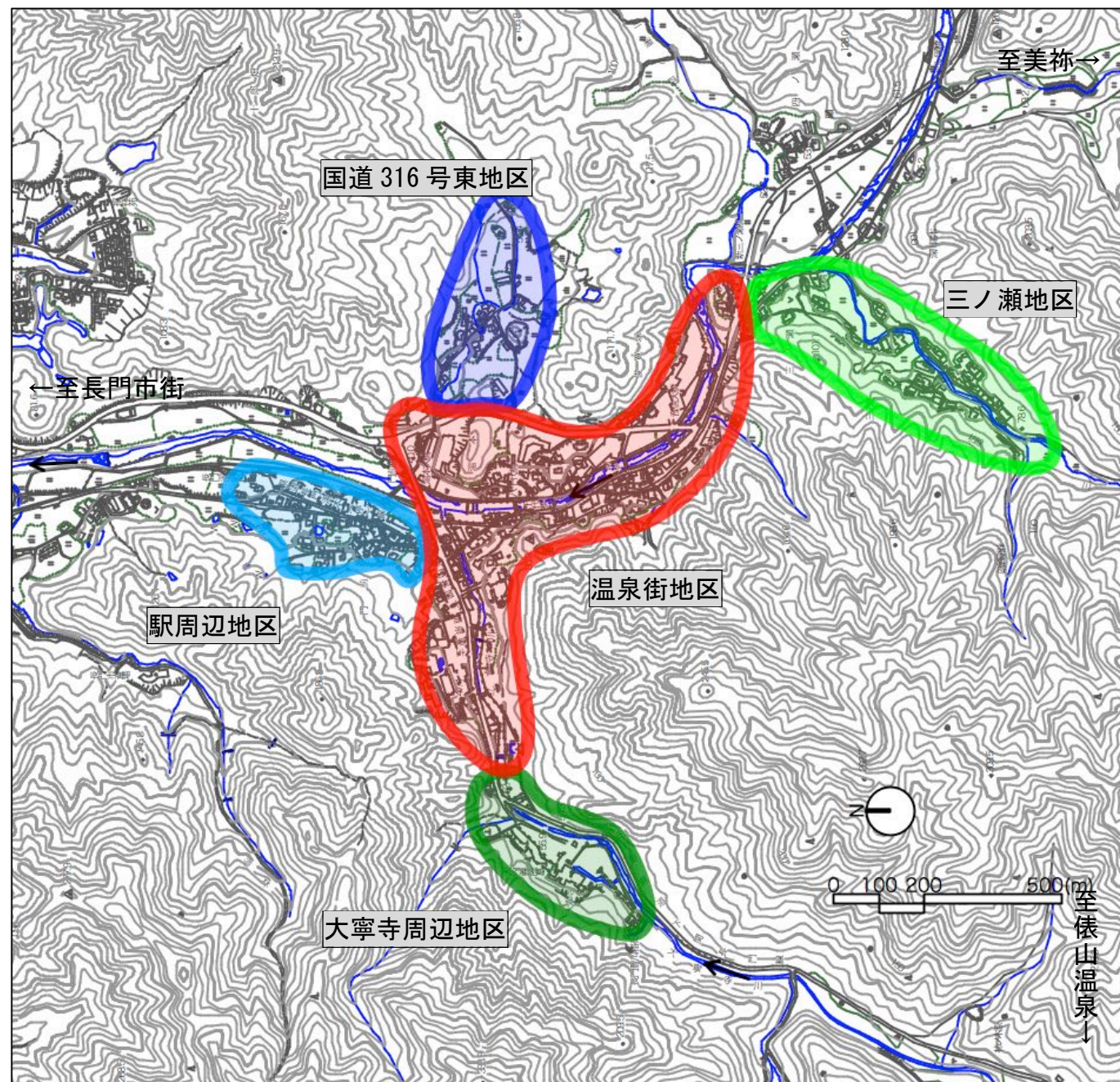
長門湯本地域の景観特性から分類した5地区のうち、温泉街・三ノ瀬・大寧寺周辺の3つの地区は様々な観光情報でも紹介されており、来街者が多く人の目に触れる地区である。長門湯本地域を性格づける特徴的な地区であるため、これを重点地区と設定する。

<重点地区>

- ◎温泉街地区：音信川・大寧寺川を中心とした宿泊施設群の集まる地区
- ◎三ノ瀬地区：国道号から南にJR美祢線三ノ瀬踏切を渡った地区
- ◎大寧寺周辺地区：大寧寺を中心と下周辺地区

<その他の地区>

- 駅周辺地区：旧街道を軸として、長門湯本駅と県道号線間の地区
- 国道316号東地区：国道316号の東側にまとまる地区

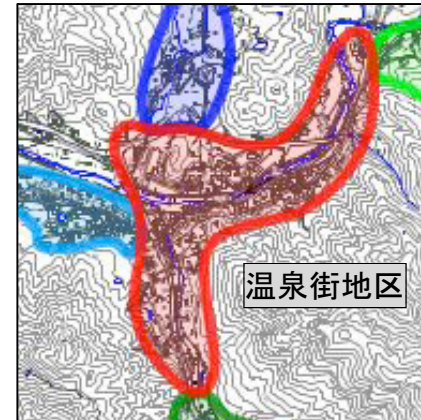


重点地区の設定

3) 各地区の景観形成方針

(1) 温泉街地区

「全国温泉ランキング（にっぽんの温泉100選ランキング/観光経済新聞社）」のTOP10入りを目指す温泉街としてふさわしい情緒あふれる、質の高い景観の形成を図る。

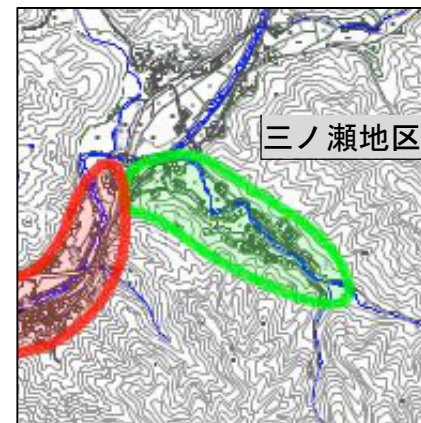


<keyword 観光、温泉街、情緒、賑わい>

既存の整備施設、自然環境、魅力資源を活かし、他の有名温泉地と比べても見劣りしない整備を行う。

(2) 三ノ瀬地区

現在の風情と落ち着いた環境を尊重し、むやみに観光地化しない。

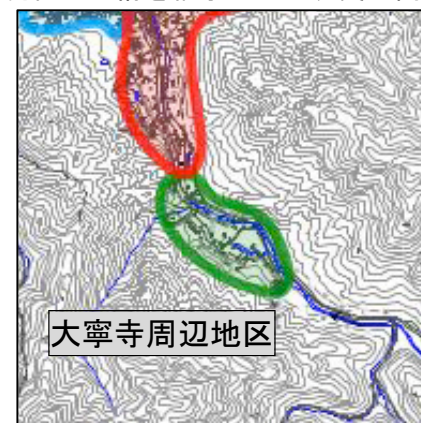


<keyword 深川焼、登窯、庭、石垣、緑>

観光向けの整備は限定的なものとして、石垣擁壁や美しい庭など既存の魅力的な環境を維持する。

(3) 大寧寺周辺地区

現在の風情を継承しつつ、質の高いアクセス空間を形成する。

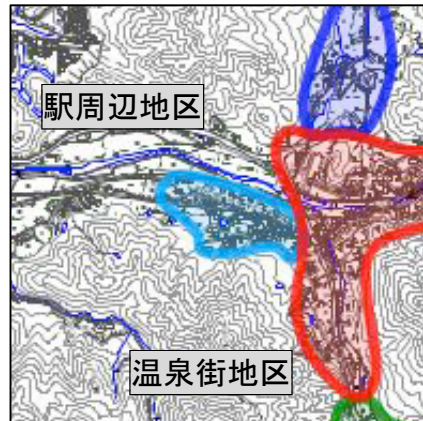


<keyword 大寧寺、歴史、旧参道、緑、大寧寺川>

これまでの自然環境や歴史に敬意をはらい、既存の素材・風情を活かすデザインとする。

(4) 駅周辺地区

のどかで落ち着いたある住宅地区としての環境を継承していく。温泉街を予感させる景観の形成を段階的に図っていく。

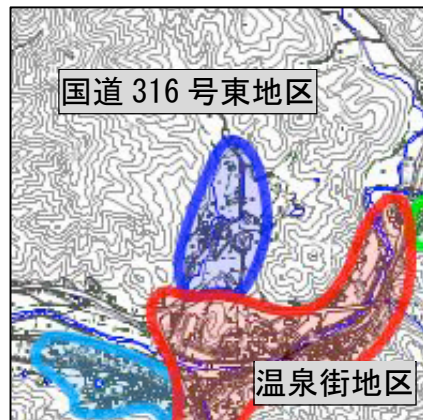


〈keyword 住宅地、駅、旧街道、アクセス〉

住宅地として落ち着いた環境形成を図る。今後の観光客の動向によっては長門湯本駅周辺や旧街道を活かした整備を検討することも考えられる。

(5) 国道 316 号東地区

駅周辺地区と同様に、のどかで落ち着いたある住宅地区としての環境を継承していく。



〈keyword 住宅地、自然、散策〉

のどかな住宅地の継承を基本として観光地化することは避け、豊かな自然環境を活かした集落を維持していく。

3. 景観デザインガイドラインの作成

1) 長門湯本景観形成方針

『長門湯本の人たちが大切にしてきた ～川・湯・窯・寺・緑・街～ を尊重し活かすデザイン』
『街を訪れる人・生活する人が主役となり、個性と普遍性を両立させる基盤となるデザイン』

2) デザインにおける7つの考え方

(1) 背景となり舞台装置となるデザイン

街の主役は整備する要素ではなく人である。人々の背景、引き立て役となることを心がける。

- ・舗装面、柵類、擁壁、護岸自体は目立たせず控えめなデザインとする。
- ・背景、引き立て役、控えめ、舞台装置であるからといって、粗く雑な仕上げとはせずディテールを追求し味わいのある洗練されたデザインとする。
- ・明度、彩度の低い色彩とするなど落ち着いた雰囲気となる表面仕上げを基本とする。



護岸自体は控えめとし活動する人々や周囲の山並み、街並みを主役とすることに心がけている
(島根県津和野町・津和野川護岸)



明度や彩度を低くして落ち着いた色彩を基調としたまちづくりを行っている
(熊本県南小国町・黒川温泉)



張り出し道路を支える構造材の現状



→ ダークブラウン色とした場合



張り出し道路を支えるアーチ構造材の現状



→ ダークブラウン色とした場合

(2) さりげなく洗練されたデザイン

過度に地域性を演出しすぎず抽象化に努め、飽きがこない、洗練度を高めたデザインとする。

- ・地域の名産品などを安易に絵や形で表現しない。
- ・コンクリート及びモルタル面の露出を減らすよう工夫する。
- ・ディテールを重視する。特に境界部のデザインがポイントとなる。



配湯タンクに文字や地域の名物などを描いた地域表現事例



名産品である将棋の駒をそのままの形で巨大化し、高欄の一部とした安易な地域表現事例



コンクリートの縁が見えてしまっている排水施設の事例



自然石と地域の特産品である瓦を護岸のパラペットに用いて構造物の洗練度を高めている。
(島根県津和野町・津和野川護岸)



床面を構成する要素が細部にわたって丁寧に割りつけられている。
(福岡県北九州市・門司港レトロ地区)

（３）他者を活かすデザイン

周囲の山々・岩場のある音信川・坂道・石積みや樹木など自然の地物や地域の魅力を積極的に活用する。
公共空間整備のみで全てを解決しようとせず、沿道の事業者や民間の力に頼ってみる。

- ・丘からの俯瞰景、川からの仰瞰景、遊歩道や路地など地域の魅力を発見して活用する。
- ・視点場の整備と視対象の保全及びデザイン化を図る。
- ・段差を生かした腰掛けなど地形を活かした居場所をつくる。
- ・長門湯本の顔である音信川の魅力をさらに高める。
- ・広場と舞台をつくり、ベンチを並べるような施設や装置づくりを行っても街の賑わいは生まれない。むしろ他力本願に徹して沿道の事業者や民間の知恵と力に頼り、その下支えをする基盤を丁寧につくる。



山並みと赤褐色の瓦屋根が美しい
長門湯本の街並み



岩場のある水の流れや背後の山並み
が美しい音信川



湯本大橋からみる山並みと街の眺め



石を積んで先人がつくりあげた棚田
状の地形



水面を近くに感じることができる
音信川遊歩道

（４）自然素材を導入したデザイン

時間の経過でマイナス要素となる素材ではなく、風合いが増しプラスに働く自然素材を活用する。

- ・現状の石積み擁壁や石積み護岸は良いお手本である。先人の知恵や仕事に学ぶ。
- ・木材、竹、瓦（焼物）、石灰岩を含む自然石など地場材を積極的に活用する。
- ・植物による季節感の演出、視線の制御、構造物の修景を図る。但し、植物至上主義にならないよう周辺との関係性や使い方などに留意する。
- ・コストや維持管理面などを念頭におきながらも、柵の笠木、塀、腰掛け、テラス等への木材、竹、瓦などの活用を検討する。
- ・地域に存在する自然素材は財産である。やむを得ず撤去する構造物の自然石や瓦などの再利用化を推し進める。
- ・同じく、既存樹木も財産であるため積極的に保全に努めるが、潜在種や代償植生など地域にふさわしい植栽種を基本とする。



せり器タイルを使用した踊り場
（島根県津和野町・津和野川護岸）



石灰岩を使用した舗装と擁壁
（沖縄県那覇市・那覇新都心）



木材を利用したガードレール
（大分県別府市・鉄輪温泉）



木材を笠木に用いた高欄
（熊本県南小国町・黒川温泉）



視線制御に用いた木塀
（長野県軽井沢町・某宿泊施設）



自然石の坂道
（大分県由布市・湯平温泉）



撤去される擁壁は自然石を再利用



石に似せた模様による擁壁
擬似模様の仕上りのあり方について
は議論が必要である



擬木の転落防止柵
擬似材料のあり方については議論
が必要である

（５）空間や場の格に応じたデザイン

通り・空間・場などの格に応じた雰囲気づくりを行う。

- ・メイン動線とサブ動線、表通りと路地、丘の道と川の道、中心となる広場と辻広場など街の中での立地、スケール、周辺状況、使われ方、歴史などに応じて通りや空間には格がある。標準設計の機能格付けではなく、それぞれの格に応じたデザインを基本とする。
- ・コストや整備工程などの課題もあることから、整備の要所をとらえデザインのめりはりを効かせながら質の高いデザインを行う。



温泉街のメインストリート



まちの路地空間



丘の中腹の路地空間

（６）人の行動やスケールにふさわしいデザイン

安心で落ち着ける人間らしいスケール感を追求する。

- ・山あいの温泉街らしい適切なスケール感を演出する。
- ・囲繞感、距離感、奥行感、アフォーダンスなど人の行動や心理に働きかける指標や感覚に配慮する。



駐車場予定地
車輛優先だけではなく人を迎え温泉街へと導く重要な場としてのデザインを行う



高木や低木が混植された緑地により適度なスケール感や奥行き感をもたせた有名観光地の駐車場（長野県小布施町・森の駐車場）

（７）引き算のデザイン

景観を阻害する要素は取り除いていくとともに、むやみに要素を付加させない。

- ・著しく汚損していたり、時代に残り残されて機能していない施設は撤去する。
- ・公益事業者や民間施設に関わる電柱、設備機器、配管配線類などの撤去、移設、埋設といった景観向上の対策を働きかける。
- ・コンセプトだけが一人歩きして要素だらけとならないように留意する（来訪者にわかりやすい＝サインだらけ、来訪者の居場所＝ベンチだらけ等）。



足湯付近のサインと設備配管の現状



→ 足湯付近のサインと設備配管を撤去した場合



電線地中化された通り
（京都府豊岡市・城崎温泉 駅通り）



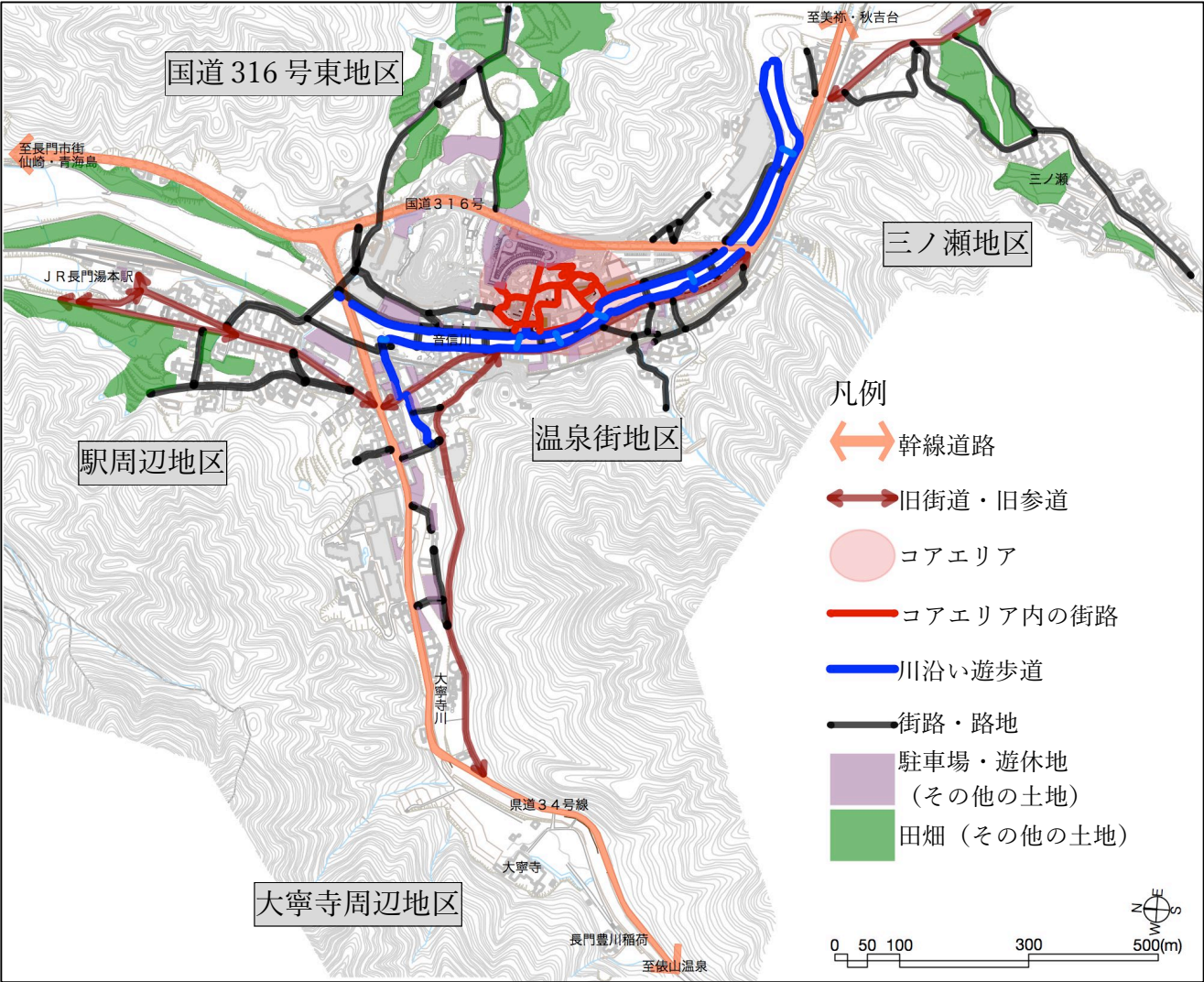
国道316号など長門湯本温泉へのアクセス道路にある風呂桶をモチーフとした車輛系サイン

3) ランドスケープにおける長門湯本地区を構成する空間の整理

本ガイドラインのランドスケープ編においては、主要なオープンスペースとして、道路や河川、民地の一部分を対象とする。

<ガイドラインの対象とする主要なオープンスペース>

- 幹線道路
- 旧街道・旧参道
- コアエリア
- 川沿い遊歩道
- 街路・路地
- その他の土地



まちを構成する空間の整理

<地区とまちを構成する空間の関係>

| | 温泉街地区 | 三ノ瀬地区 | 大寧寺地区 | 駅周辺地区 | 国道 316 号東地区 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 幹線道路 | ○ | — | ○ | — | — |
| 旧街道・旧参道 | ○ | — | ○ | ○ | — |
| コアエリア | ○ | — | — | — | — |
| 川沿い遊歩道 | ○ | — | — | — | — |
| 街路・路地 | ○ | ○ | — | ○ | ○ |
| その他の土地 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

4) ランドスケープの景観デザインガイドライン（素案）

（１）舗装、排水施設等

＜共通事項＞

- ・機能性を満たしつつ、景観性と経済性に配慮した素材選択とし、街並みや人を主役とした背景として舗装面を構成する。

＜コアエリア＞

- ・風格ある温泉街のエントランス空間として、また足音も楽しい演出として、舗装材は自然石を連続させたもてなしの空間を作る。
- ・「全国温泉ランキング TOP10（にっぽんの温泉 100 選ランキング/観光経済新聞社）」にランキングされる有名温泉地も、石畳舗装の情緒あふれる小路の散策が楽しい。長門湯本でもコアエリアでは、石畳舗装を基本とし上質な温泉街体験を提供する。



厚みのある自然石舗装が風格のある温泉街を演出している（道後温泉）



自然石舗装が端正に敷き詰められ、上品な印象の空間となっている（山代温泉）



足音も楽しい小路の自然石舗装（別府鉄輪温泉）



足音も楽しい小路の自然石の乱張り舗装（湯平温泉）

＜川沿い遊歩道＞

- ・観光客の回遊空間として、また足音も楽しい演出として、舗装材は自然石を連続させたもてなしの空間を継承する。



既存の自然石舗装を継承する



既存の自然石舗装を継承する

＜旧街道・旧参道＞

○温泉街地区

- ・温泉街地区の風情を高める演出とするため、長い延長で使用する車道部では、耐久性が高く、経済的でありながら安っぽくならない、自然石風半たわみ性舗装や脱色アスファルトを推奨する。
- ・経済性等で上記の素材を採用できずインターロッキングブロックを使用する場合には、天然石の風合いを活かした無顔料のインターロッキングブロックを推奨する。
- ・部分的には自然石舗装として街路のアクセントとしても良い。この場合、車両の乗り上げにより破損しない厚み等に配慮した舗装構造を検討する。



耐久性が高く、経済的でありながら安っぽくならない自然石風半たわみ性舗装（伊香保温泉）



半たわみ性舗装



耐久性が高く、経済的でありながら安っぽくならない脱色アスファルト（山中温泉）



脱色アスファルト

○駅周辺地区や三ノ瀬地区

- ・機能性・経済性に優れたアスファルト舗装を基本とする。
- ・温泉街地区の活性化により観光客動線が拡大するに従い、温泉街地区に準じる整備とする。

＜街路・路地＞

- ・機能性・経済性に優れたアスファルト舗装を基本とする。
- ・温泉街地区の活性化により観光客動線が拡大するに従い、脱色アスファルト舗装で散策に楽しい道の演出をしていく。
- ・部分的には自然石舗装として街路のアクセントとしても良い。この場合、車両の乗り上げにより破損しない厚み等に配慮した舗装構造を検討する。



脱色アスファルトで舗装された小路（山中温泉）

＜幹線道路＞

- ・車道・歩道共に機能性・経済性に優れたアスファルト舗装とする。
- ・縁石は耐久性・経済性に優れたコンクリート製とする。



国道 316 号:アスファルト舗装・コンクリート縁石

＜その他配慮すべき事項＞

- ・自然石舗装や石畳風半たわみ性舗装、脱色アスファルト舗装、インターロッキングブロック舗装を採用した場合、人の目につきやすい路線・箇所においては、存在を主張しない細幅のスリット側溝蓋を推奨する。
- ・排水施設の縁や標識・柵などの基礎コンクリート面が、舗装表層に現れないように収まりに配慮する。



存在を主張しない細幅のスリット側溝蓋の使用を推奨
縁部はコンクリートが舗装表層に現れないようにする

（２）植栽

＜共通事項＞

- ・今ある緑の保全を行うとともに、地域の植生に合った緑化を推奨する。

＜コアエリア＞

- ・住吉神社の緑や、音信川を挟み込む山の緑を守る。
- ・大規模駐車場では、空間の文節や目隠し効果のある植栽配置で来街者の目線に配慮する。
- ・自生の緑の保全だけでなく、オープンスペースに飛び出すもてなしの花や緑による演出を推奨する。



住吉神社の緑



駐車場前面に植栽を配置し殺風景な場内の雰囲気を
感じさせない（俵山温泉）



もてなしの花の飾り付け（修善寺）



軒先の飾り付け（大崎下島御手洗地区）

＜川沿い遊歩道＞

- ・川沿いの桜並木を、後世にまで大切に残す。可能な場所では、さらに範囲を拡げていく。
- ・遊歩道にかかる雑草は、歩行者の妨げとならないように適宜草刈り等の保守を行う体制づくりが必要である。



音信川沿いの桜並木は、市内の代表的な名所であり
後世まで大事に残す



現況の桜並木に合わせて対岸にも桜並木があると、より
ボリュームのある名所が生まれる可能性がある

＜旧街道・旧参道＞

- ・軒先緑化を行うなど、道に面する建物の表情を和らげる工夫をし、もてなしの空間を作る。



軒先の植栽が柔らかな印象を与える（城崎温泉）



もてなしの心が伝わる軒先の鉢植え飾り（山中温泉）

＜街路・路地＞

- ・可能な場所では、小さな植え込みや植木を並べるなどして、潤いがあり足を踏み入れた人の心をほぐすような雰囲気を作り出す。



路地に置かれる鉢植え植栽（大崎下島御手洗地区）



軒先の鉢植え飾り（萩）



雨樋受け部分の坪庭（津和野）



建物ぎわの植栽が建物と小路に囲まれた空間を柔らかなものにしている。（小布施）

＜幹線道路＞

- ・地域間をつなぐ幹線道路で空間的に設置可能な路線では、車で訪れる来街者への緑豊かな温泉街のエントランス空間として、高木を連続させたもてなしの空間を作る。
- ・サインの視認性を確保するため、既設サイン前面の草刈りや枝払いには配慮する。



心地良いケヤキ並木を大事にする



サインにかかる枝葉は、剪定が必要である

＜その他の土地＞

- ・駐車場の内可能な場所では、生垣・高木植栽・地被植栽等を採用し、無機質な駐車場の風景を和らげる。



植栽により駐車場前面にスクリーンを施す（小布施）

(3) サイン、ファニチャー類

<共通事項>

- ・サインデザインの共通化や色彩の統一化を行うことを推奨する。
- ・既存のサインが掲示されている支柱やその他の構造物の支柱は整理・集約化を図ることが望ましい。
- ・サインやファニチャー類は、突出して悪目立ちせず、地域の文化や風景と馴染むデザイン・素材選択として、温泉街の風情を演出する。
- ・マップ内の情報や誘導案内する施設等は、街の整備更新が進むことから、定期的に情報を見直す仕組みが必要である。

<車両系サイン>

- ・ポール類の集約化と色彩の統一化を図り、自然や温泉街が主役となる風景とすることが望ましい。
- ・新設が必要なサイン情報は、既存ポールへの案内板の共架や既存板面の情報の整理等を行い、構造物を増やさない方向の検討を優先する。
- ・視認性を確保するため、既設サイン前面の草刈りや枝払いには配慮する。

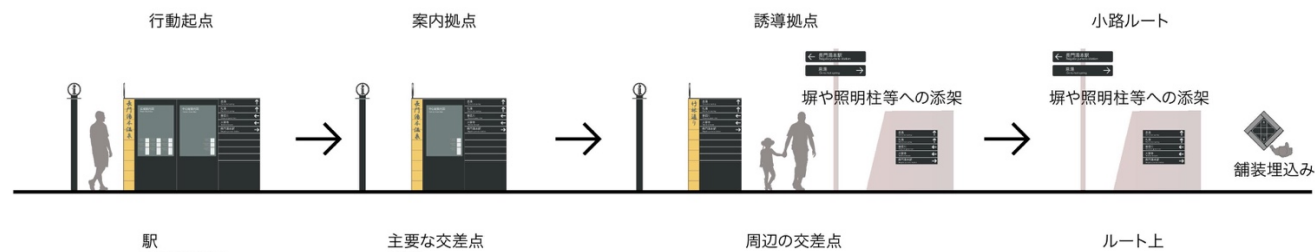


様々な主体の誘導サインが立ち上がる

<歩行者系サイン>

- ・サイン案内板は、壁や石積み擁壁に添架するなど、新たに掲示のための構造物を作らなくても表示可能か検討し、極力構造物を増やさないことを推奨する。

■歩行者系サインシステム



行動起点となる観光案内所・中央バスターミナルのサイン案内板（野沢温泉）



照明柱に案内サイン板を添架し、整理されている（野沢温泉）



擁壁にサインを添架し、苔むした擁壁の雰囲気と馴染んでいる（黒川温泉）



さりげない案内で地区の雰囲気を壊さない路面埋込サイン（萩）



同色でデザイン的にも共通化されたサインは、落ち着いた温泉街の雰囲気を演出している（上記3点）（黒川温泉）

<ファニチャー類>

- ・通行空間を補完する、たたずむ・眺める・休む・買い物するといった様々な活動が展開する、豊かなふくらみの空間として展開する。
- ・空間的に余裕がある場所においては、案内サインと合わせて温泉街の風情に配慮した自然素材を主とした腰掛けを設置する。
- ・軒下空間は、もてなしの空間として休憩やコミュニケーションのきっかけとなるような工夫をすることが望ましい。腰掛けや手水鉢・植木・季節を感じさせる食べ物を干している風景も楽しい。ただし、温泉街の和の雰囲気を阻害しないデザインのものを選択するよう注意が必要である。
- ・暖簾やパラソル等の取り外しのできる布類については、街のシンボルカラーとするなどしてアクセントとなる印象的な色を使用しても良い。
- ・時計や腰掛け等の各種団体からの寄贈物については、あらかじめ温泉街の雰囲気に合うか確認の上、設置の可否を判断する。



温泉街の風情には洋風のベンチではなく腰掛けが馴染む（修善寺）



もてなしの心が伝わる花の鉢植えや腰掛け（城崎温泉）



色彩が統一された車止めやサイン木材の腰掛けが石舗装と合わせて上質な温泉街を演出している（山代温泉）



加賀山中温泉を紹介する多くのパンフレットは鶴仙溪の川床を最初の写真に使っておりアクセントカラーが印象に残る（山中温泉）

(4) 垣および塀・柵類

<共通事項>

- ・訪れる人々が主役となるように、存在を主張しすぎない自然素材のものやシンプルな形状・色のものとする。
- ・塗装する場合は、存在感が突出せず汚れが目立ちにくいダークグレー（標準マンセル値 10YR3.0/0.2 程度）またはダークブラウン（標準マンセル値 10YR2.0/1.0 程度）を推奨する。

<垣、塀>

- ・道に面して境界壁を設ける場合は、生垣等の自然に馴染む造りや、漆喰塀や板塀などの温泉街の和の風情に馴染むものを推奨する。
- ・防犯性・視認性等でやむをえない場合、存在感が突出せず汚れが目立ちにくいダークグレーまたはダークブラウンのメッシュフェンスを推奨する。



温泉街の和の風情に馴染む漆喰壁・板塀（渋温泉）



和の雰囲気醸し出すことができるため竹垣風フェンスも許容する



メッシュフェンスはダークグレーまたはダークブラウンを推奨する

<転落防止柵>

- ・転落防止のために、空間的に可能な場所では植栽帯を設けることで、転落防止柵(人工物)の無い河川空間を作り出す。
- ・転落防止柵を設ける場合は、川やそこに訪れる人々が主役となるように、また川への視線を妨げないように、透過性の高いシンプルな形状とする。



植栽帯があるため転落防止柵（人工物）の無い川沿い空間となっている（修善寺）



川への透過性の高いシンプルな形状の歩行者自転車用転落防止柵（道後温泉）

<高欄>

- ・温泉街の温泉街の和の風情に馴染むデザインとし、地域の特産物等を安易にデザインに持ち込まない。



和の風情に馴染む千代橋の鋼製高欄



和の風情に馴染むせせらぎ橋の木製高欄

<手摺>

- ・耐久性の高いステンレスで、シンプルな形状のものを推奨する。
- ・維持管理が可能であれば、人の手に触れる部分には、肌触りの優しい木製（人工木材含む）とすることを検討する。



シンプルで耐久性の高いステンレス製手摺を推奨する



維持管理が可能であれば、肌触りの優しい木製手摺とすることを検討する

<ガードレール・ガードパイプ>

- ・ガードレールやガードパイプは、過度に目立つ色彩や不調和な絵や文字等の装飾はしない。



ガードレールや高欄等の鋼製の道路占有物は、ダークブラウンに色が統一しているため存在感は薄まっており、標識の認知や山の風景が邪魔されない

(5) 護岸・擁壁・法面

<共通事項>

- ・巨大なコンクリート面が現れてこないようにすることが望ましい。やむをえず露出することになる場合にも、着色の検討やコンクリート面周囲の場所で緑化等を行いその存在感を軽減するように工夫する。

<護岸>

- ・既存の音信川や大寧寺川の石積み護岸は継承し、改修の際にも自然石の護岸とすることが望ましい。
- ・パラペット部も擁壁面から続く自然石の仕上げとする。
- ・出水後のゴミ拾いや日常の草刈り等維持管理に努め、荒れた状態で放置しない。



湯本地区区の特徴的な風景を作る石積み護岸を継承する



端部も自然石で収め、上品な空間を作り出す

<擁壁>

- ・まちなかに見られる既存の石積み擁壁は継承し、改修の際にも自然石の擁壁とすることが望ましい。
- ・コンクリート擁壁は、石積風化粧型枠やレンガ積風化粧型枠は使用しない。



まちなかに見られる石積み擁壁は継承する



改修の際にも自然石の再利用を行うなど、石積みの風景を継承する

<法面>

- ・緑化の可能な法面では、積極的に緑化することを推奨する。



法面内枠植生工により緑の季節にはコンクリート枠の存在感が軽減される。